



平成24年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年8月8日

上場会社名 株式会社 サニックス
コード番号 4651 URL <http://sanix.jp>

上場取引所 東 大 福

代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 宗政 伸一

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 管理本部長兼経営企画部長 (氏名) 下城 正寛

TEL 092-436-8870

四半期報告書提出予定日 平成23年8月11日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第1四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第1四半期	7,505	3.2	△317	—	△325	—	△439	—
23年3月期第1四半期	7,274	15.7	611	816.6	593	657.5	440	422.8

(注) 包括利益 24年3月期第1四半期 △424百万円 (—%) 23年3月期第1四半期 428百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第1四半期	△9.21	—
23年3月期第1四半期	9.23	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第1四半期	19,770	6,677	33.6
23年3月期	20,406	7,102	34.7

(参考) 自己資本 24年3月期第1四半期 6,648百万円 23年3月期 7,072百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
24年3月期	—	—	—	—	—
24年3月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	17,410	19.2	265	△76.6	240	△78.0	30	△96.3	0.63
通期	38,000	31.1	1,300	159.0	1,250	190.7	830	—	17.40

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期1Q	48,919,396 株	23年3月期	48,919,396 株
② 期末自己株式数	24年3月期1Q	1,209,971 株	23年3月期	1,210,021 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期1Q	47,709,412 株	23年3月期1Q	47,709,425 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) セグメント情報等	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8
4. 補足情報	9
部門別連結売上高	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間（平成23年4月1日～平成23年6月30日）におけるわが国経済は、東日本大震災の影響により、生産や輸出が減少し景気は急速に悪化したしましたが、サプライチェーンの復旧とともに持ち直しの動きが見られるようになってきました。しかしながら、電力不足が全国規模の問題となりつつあり、依然として不透明な状況となっております。

このような経営環境の中で、当社グループは、エコビジネスのリーディングカンパニーとして、コンプライアンス体制の強化や顧客本位の営業活動を推し進めるとともに、生産性の向上に注力し業績回復を図ってまいりました。また、次世代エネルギーのひとつのビジネスモデルとして、クリーンエネルギーである太陽光発電システムの販売、並びに廃プラスチックを燃料として再生利用したリサイクルエネルギー発電を推進してまいりました。

当第1四半期連結累計期間においては、環境資源開発事業部門のサニックスエナジー苫小牧発電所（北海道苫小牧市）において、平成23年6月に定期修繕並びに設備法定点検を実施し、設備更新の実施に伴い前年同期を超える修繕費を計上しております。この結果、今回の設備更新により更なる発電操業の安定化が図れ、収益性の向上を見込んでおります。

当第1四半期連結累計期間における売上高は、HS（ホーム・サニテーション）事業部門、ES（エスタブリッシュメント・サニテーション）事業部門、環境資源開発事業部門ともに前年同期比増収となり、グループ全体の売上高は7,505百万円（前年同期比3.2%増）となりました。費用面では、サニックスエナジー苫小牧発電所における修繕費の増加に加え、原価率の高い「太陽光発電システム」の売上比率が高まったことにより、売上原価が前年同期比25.3%増となりました。この結果、グループ全体の営業損失は317百万円（前年同期は611百万円の営業利益）、経常損失は325百万円（前年同期は593百万円の経常利益）、四半期純損失は439百万円（前年同期は440百万円の四半期純利益）となりました。

当第1四半期連結累計期間の事業部門ごとの状況は次のとおりであります。

①HS（ホーム・サニテーション）事業部門

当第1四半期連結累計期間においては、「白蟻防除施工」は前年同期比11.4%減、「床下・天井裏換気システム」は前年同期に販売キャンペーンを実施した反動もあり前年同期比41.3%減となり、「基礎補修・補強工事」は顧客への提案が一巡したこともあり前年同期比42.0%減となりました。しかしながら、主力商品である戸建て住宅向け「太陽光発電システム」は堅調に推移し前年同期比196.8%増となったことにより、売上高は4,463百万円（前年同期比1.3%増）となりました。

営業損益は、既存商品に比べ原価率の高い「太陽光発電システム」の売上比率が高まったことにより、営業利益は768百万円（前年同期比40.2%減）となり、売上高対営業利益率は17.2%（前年同期は29.2%）となりました。

②ES（エスタブリッシュメント・サニテーション）事業部門

営業効率の向上を図るべく、ビル・マンションの不動産管理会社等の法人営業に注力し、収益性の改善を進めてまいりました。既存のビル・マンション維持管理サービスについては例年に比べ伸び悩んだものの、集合住宅向け「太陽光発電システム」が加味されたことにより、売上高は677百万円と前年同期比4.3%増となりました。

営業損益は、既存商品に比べ原価率の高い「太陽光発電システム」の売上比率が高まったことにより、営業損失は11百万円（前年同期は55百万円の営業利益）となりました。

③環境資源開発事業部門

「廃プラ加工処理」は、取引先件数と搬入量が堅調に増加し前年同期比9.3%増となりました。「売電収入」は、サニックスエナジー苫小牧発電所（北海道苫小牧市）において、定期修繕と設備法定点検を併せて実施したことにより、前年同期に実施した定期修繕に比べて工期が長期に及んだため、前年同期比33.1%減となりました。「有機廃液処理」は、搬入量が堅調に増加し前年同期比19.1%増となりました。「埋立処理」は、前期並みの搬入量を確保し前年同期比0.7%増となりました。この結果、当事業部門の売上高は2,364百万円（前年同期比6.5%増）となりました。

営業損益は、生産性の向上とコスト削減に注力したものの、サニックスエナジー苫小牧発電所（北海道苫小牧市）において、平成23年6月の定期修繕時設備更新により、前年同期を超える修繕費を計上しております。この結果、営業損失は491百万円（前年同期は179百万円の営業損失）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

資産、負債及び純資産の状況

当第1四半期連結会計期間末の総資産は19,770百万円となり、前連結会計年度末比636百万円減少しました。主な要因は、受取手形及び売掛金、現金及び預金の減少によるものであります。負債合計は13,092百万円となり、同211百万円減少しました。主な要因は、借入金の返済を進めたことによるものであります。純資産合計は6,677百万円となり、同424百万円減少しました。主な要因は、四半期純損失439百万円を計上したためであります。

その結果、自己資本比率については、前連結会計年度末34.7%に対し、当第1四半期連結会計期間末は33.6%となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成24年3月期の連結業績予想につきましては、平成23年5月11日に公表しました連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

(追加情報)

当第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」（企業会計基準第24号 平成21年12月4日）及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日）を適用しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,138,347	884,841
受取手形及び売掛金	2,521,099	2,195,296
商品及び製品	59,493	57,214
原材料及び貯蔵品	1,582,927	1,643,699
その他	694,389	737,974
貸倒引当金	△105,828	△110,752
流動資産合計	5,890,429	5,408,273
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,260,413	2,209,826
機械装置及び運搬具(純額)	144,994	151,802
土地	8,979,529	8,979,529
その他(純額)	378,179	371,608
有形固定資産合計	11,763,116	11,712,766
無形固定資産		
のれん	849,383	821,382
その他	61,035	60,393
無形固定資産合計	910,419	881,776
投資その他の資産	1,842,705	1,767,720
固定資産合計	14,516,241	14,362,263
資産合計	20,406,670	19,770,536
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	867,782	1,115,768
短期借入金	2,425,000	1,687,500
未払法人税等	242,661	65,507
引当金	31,753	39,824
その他	3,393,475	4,000,979
流動負債合計	6,960,673	6,909,579
固定負債		
長期借入金	4,319,226	4,128,795
退職給付引当金	1,329,172	1,336,800
役員退職慰労引当金	177,555	177,930
処分場閉鎖費用引当金	289,414	303,494
その他	228,076	236,285
固定負債合計	6,343,445	6,183,306
負債合計	13,304,118	13,092,885

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	14,041,834	14,041,834
利益剰余金	△5,391,444	△5,830,715
自己株式	△1,610,766	△1,610,754
株主資本合計	7,039,624	6,600,364
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	32,620	47,988
その他の包括利益累計額合計	32,620	47,988
少数株主持分	30,307	29,297
純資産合計	7,102,551	6,677,650
負債純資産合計	20,406,670	19,770,536

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
売上高	7,274,768	7,505,414
売上原価	4,157,279	5,209,270
売上総利益	3,117,489	2,296,143
販売費及び一般管理費	2,505,856	2,613,864
営業利益又は営業損失(△)	611,632	△317,721
営業外収益		
受取利息	1,501	1,571
受取配当金	6,033	8,797
受取地代家賃	16,819	16,819
その他	11,578	11,440
営業外収益合計	35,933	38,630
営業外費用		
支払利息	49,755	45,406
その他	4,355	1,192
営業外費用合計	54,110	46,599
経常利益又は経常損失(△)	593,455	△325,690
特別利益		
関係会社株式売却益	5,000	—
貸倒引当金戻入額	2,535	—
賞与引当金戻入額	64,788	—
特別利益合計	72,324	—
特別損失		
固定資産除却損	184	96
リース解約損	296	973
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	114,268	—
特別損失合計	114,749	1,069
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	551,029	△326,759
法人税、住民税及び事業税	62,351	40,221
法人税等調整額	47,610	72,974
法人税等合計	109,961	113,196
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	441,067	△439,956
少数株主利益又は少数株主損失(△)	513	△684
四半期純利益又は四半期純損失(△)	440,553	△439,271

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	441,067	△439,956
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△12,437	15,368
その他の包括利益合計	△12,437	15,368
四半期包括利益	428,630	△424,587
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	428,116	△423,903
少数株主に係る四半期包括利益	513	△684

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

I 前第1四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	H S 事業部門	E S 事業部門	環境資源開発 事業部門	合計		
売上高						
外部顧客への売上高	4,403,845	649,607	2,221,315	7,274,768	—	7,274,768
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	4,403,845	649,607	2,221,315	7,274,768	—	7,274,768
セグメント利益又は 損失(△)	1,285,839	55,897	△179,103	1,162,633	△551,001	611,632

(注) 1. セグメント利益の調整額は各報告セグメントに配分していない全社費用551,001千円であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	H S 事業部門	E S 事業部門	環境資源開発 事業部門	合計		
売上高						
外部顧客への売上高	4,463,163	677,265	2,364,985	7,505,414	—	7,505,414
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	4,463,163	677,265	2,364,985	7,505,414	—	7,505,414
セグメント利益又は 損失(△)	768,290	△11,973	△491,880	264,436	△582,158	△317,721

(注) 1. セグメント利益の調整額は各報告セグメントに配分していない全社費用582,158千円であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

4. 補足情報

部門別連結売上高

(単位：千円)

期 別 品 目	数量 単位	前第1四半期 連結累計期間 自平成22年4月1日 至平成22年6月30日		当第1四半期 連結累計期間 自平成23年4月1日 至平成23年6月30日		比 較 増 減	
		数 量	金 額	数 量	金 額	数 量	金 額
		白蟻防除施工	千坪	248	1,386,589	224	1,228,557
床下・天井裏換気システム	—	—	976,253	—	573,111	—	△ 403,141
基礎補修・補強工事	軒	1,586	678,850	932	393,791	△ 654	△ 285,058
家屋補強システム	軒	165	128,465	118	90,325	△ 47	△ 38,139
太陽光発電システム	kw	1,376	471,754	3,857	1,400,010	2,480	928,256
その他	—	—	761,932	—	777,365	—	15,432
H S事業部門計	—	—	4,403,845	—	4,463,163	—	59,317
防錆機器取付施工	本	97	119,014	121	118,933	24	△ 81
建物給排水補修施工	—	—	202,284	—	210,417	—	8,132
建物防水塗装補修施工	—	—	154,369	—	99,299	—	△ 55,069
太陽光発電システム	kw	—	—	204	93,012	204	93,012
その他	—	—	173,938	—	155,602	—	△ 18,335
E S事業部門計	—	—	649,607	—	677,265	—	27,658
廃プラ加工処理	t	72,325	1,248,119	80,165	1,364,383	7,840	116,264
有機廃液処理	t	23,225	337,009	29,338	401,499	6,112	64,490
売電収入	—	—	299,518	—	200,248	—	△ 99,270
埋立処理	—	—	233,168	—	234,809	—	1,641
その他	—	—	103,500	—	164,043	—	60,543
環境資源開発事業部門計	—	—	2,221,315	—	2,364,985	—	143,669
売上高計	—	—	7,274,768	—	7,505,414	—	230,645

(注) 取扱品目が多岐にわたり数量の把握が困難なものは、記載を省略しております。